

我々にとってゆったり暮らしたい、と思えば基本は Stay Home。愛読書、團伊玖磨のパイプのけむりシリーズは昭和 40 年入社時に初発行されて以来、仕事人間になって毎年 1 冊発行ペースの中、ホットするひと時の 11 巻でした。コロナ禍のお蔭で余裕が出来て拾い読み。今、丁度満開の岩煙草の話も出ていました。

現役バリバリ以降は縁遠になっていた残 7 巻の内、No17「ひねもすパイプのけむり」を図書館で借用。作曲、執筆の合間の心身体養のため逗子自宅の崖下の植物多様性庭園の手入れに関わり植物の話題が増え、8 年目にヤット花が咲いた「見返り草」の涙ぐましい話も出ております。

また音楽以外で心から尊敬する「先生」2 人とは詩人の堀口大学、会った事もない随筆の内田百閒。“東海道新幹線は日本国民の叡智と努力によって完成された”と記された「銅板」が東京駅新幹線階段付近に誰にも注目されずひっそりと掲示されているらしい～～等々で、その観察眼に感心する話題が豊富です。

所で作曲家は居職（いじょく）と呼称するらしいが昔から Stay Home ですね！爪の垢を煎じますか。



天園 108 やぐらのイワタバコ (R2,6 月)



滝ノ入北公園の玉縄桜「今泉台桜を育てる会」が
実生から育て、4年目の3月3日に初開花

以上